

日本救急医学会関東地方会  
2024年度幹事会 議事次第

日時：令和6年2月13日（金）16時00分～17時00分

会場：Web会議（Zoomを利用）

議事録署名人の指名  
物故会員黙祷

**報告事項**

- |                                |         |         |
|--------------------------------|---------|---------|
| 1. 2023年度庶務報告                  | 【報告資料①】 | 中村常任幹事  |
| 2. 2023年度決算報告                  | 【報告資料②】 | 中村常任幹事  |
| 3. 関東災害連絡会議                    | 【報告資料③】 | 根本常任幹事  |
| 4. 編集委員会                       | 【報告資料④】 | 根本常任幹事  |
| 5. 救急隊部会・関東MC連絡会議              | 【報告資料⑤】 | 畝本常任幹事  |
| 6. SOS-KANTO委員会・多施設研究委員会       | 【報告資料⑥】 | 中田常任幹事  |
| 7. 日本救急医学会学生研修医部会関東支部          | 【報告資料⑦】 | 中田常任幹事  |
| 8. ホームページ報告                    | 【報告資料⑧】 | 中川常任幹事  |
| 9. 第74回（令和6年）日本救急医学会関東地方会学術集会  | 【報告資料⑨】 | 根本会長    |
| 10. 第75回（令和7年）日本救急医学会関東地方会学術集会 | 【報告資料⑩】 | 木下次期解会長 |
| 11. 第76回（令和8年）日本救急医学会関東地方会学術集会 | 【報告資料⑪】 | 井上常任幹事  |
| 12. 看護部会                       | 【報告資料⑫】 | 浅香常任幹事  |

**審議事項**

- |                 |         |         |
|-----------------|---------|---------|
| 1. 2024年度予算案    | 【審議資料①】 | 中村常任幹事  |
| 2. 新幹事推薦        | 【審議資料②】 | 井上常任幹事長 |
| 3. 名誉会員推戴       | 【審議資料③】 | 井上常任幹事長 |
| 4. ホームページリニューアル | 【審議資料④】 | 中川常任幹事  |
| 5. 議事録に関する会則変更  | 【審議資料⑤】 | 井上常任幹事長 |
| 6. 事務局長に関する会則変更 | 【審議資料⑥】 | 井上常任幹事長 |

以上

## 2023年度 庶務報告

庶務担当 中村光伸

◆  
総会員数：1,238名（新会員152名）（2023年12月31日時点）

名誉	43名	（新規推戴0名）
幹事	324名	
一般	871名	
医師	973名	新会員106名※3
看護師	191名	新会員27名
薬剤師	0名	
診療放射線技師	1名	
ME	2名	
救急救命士	54名	新会員16名
その他※4	17名	新会員3名

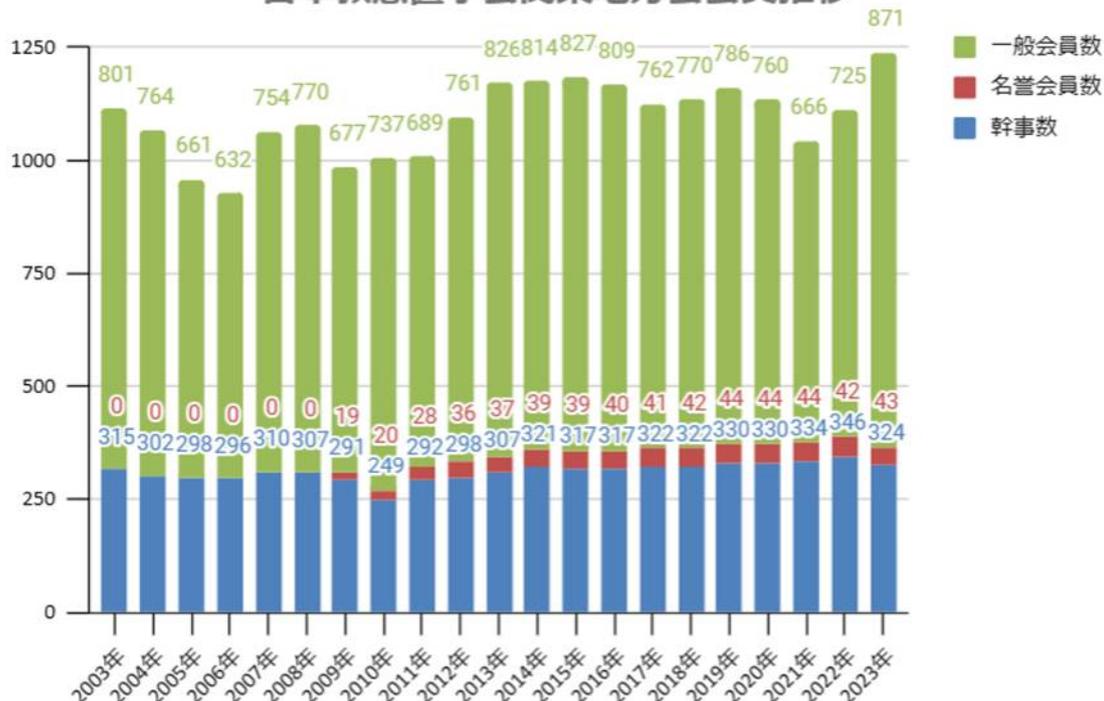
※1 2024年2月13日幹事会で対象者なし

※2 新会員数は2023年1～12月入会手続き者数

※3 初期臨床研修医、医師免許取得後3年以下による年会費免除者：40名

※4 救命士以外の消防職員、管理栄養士、図書館司書、臨床心理士、看護学生、助産師等

日本救急医学会関東地方会会員推移



退会者：113名（うち申出33名）

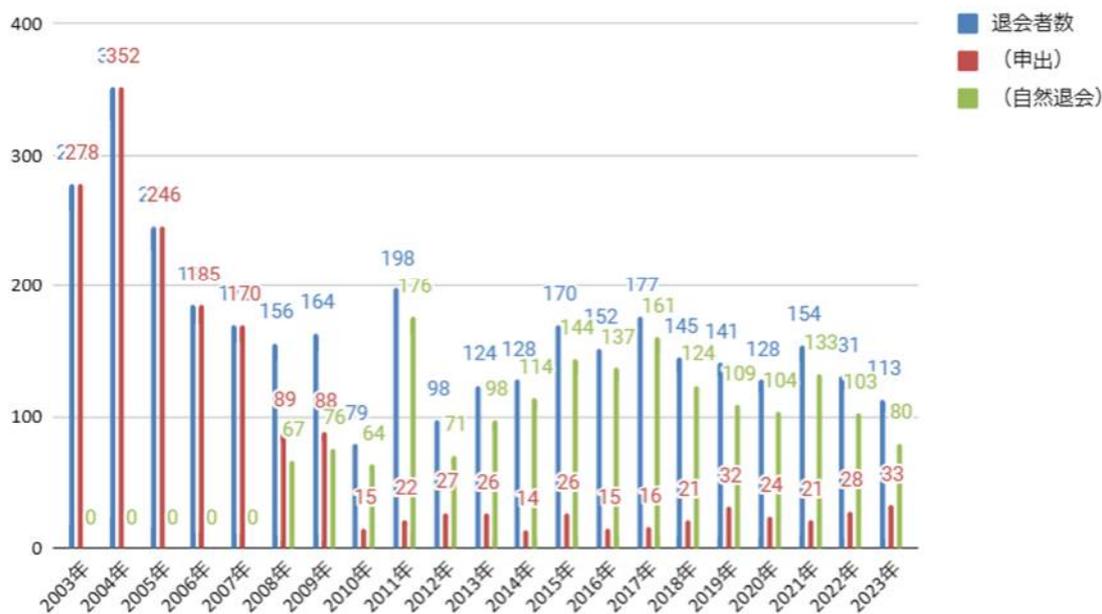
	申出数	自然退会対象数
名誉（医師）	2名	0名
幹事（医師）	5名	3名
一般（医師）	21名	42名
一般（医師以外）	5名	35名

※（2021年度・2022年度未納）・・・自然退会 80名

※（2022年度・2023年度未納）・・・自然退会対象 160名

→2024年度に【再送】160名を予定

### 退会者数



### 会員のご逝去 (退会者数に含む)

梅園 明 先生 (うめぞの あきら 名誉)  
 都築 正和 先生 (つづき まさかず 名誉)  
 後藤 英昭 先生 (ごとう ひであき 幹事)  
 高沢 研丞 先生 (たかざわ けんすけ 幹事)  
 中西 泉 先生 (なかにし いずみ 一般)

以上

庶務担当 中村光伸

日本救急医学会関東地方会 2023年度決算報告書  
(2023年1月1日～12月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	予算比	備考
<b>会費収入</b>	<b>5,680,000</b>	<b>5,940,000</b>	260,000	幹事：10,000円・一般：5,000円
当年度・過年度収入		1,240,000		ゆうちょよりそな振込 幹事 306名 一般 570名
当年度未入金		4,670,000		クレジットカード決済
前受会費収入		25,000		2024年前受 幹事1名/一般2名 2025年前受 一般1名
その他不明会費収入		5,000		該当者なし不明(一般1名)
<b>雑収入</b>	<b>450,010</b>	438,487	△ 11,523	
広告掲載料	0	0		
銀行預金利息	10	27		ゆうちょ利息0円・りそな利息5円+22円
地方会補助金	200,000	200,000		日本救急医学会
その他(1)	50,000	88,500		43巻4号/44巻2号別刷代
その他(2)	200,000	18,000		りそな振込 看護部会シンポジウム参加費
その他(2)未入金		128,000		クレジットカード決済 看護部会シンボ参加費
その他(3)	0	0		学術集会余剰金
その他(4)	0	3,960		2022年度医中誌利用料
収入合計	6,130,010	<b>6,378,487</b>	248,477	

**当年度・過年度収入計** **¥5,940,000**

会費収入(幹事)	2023	10000	278	2780000
	2022	10000	17	170000
	2021	10000	9	90000
	それ以前	10000	2	20000
			306	3060000

会費収入(一般)	2023	5000	511	2555000
	2022	5000	42	210000
	2021	5000	17	85000
	それ以前	5000	0	0
			570	2850000

その他・不明金会費				<b>¥5,000</b>
	不明1名	5000	1	¥5,000

前受金				<b>¥25,000</b>
	2024年(幹事)	10000	1	10000
	2024年(一般)	5000	2	10000
	2025年(一般)	5000	1	5000

日本救急医学会関東地方会  
2024年度幹事会  
報告資料②

【支出の部】				
科目	予算	決算	予算比	備考
<b>事業費</b>	<b>4,355,000</b>	4,206,957	148,043	
刊行費	1,500,000	1,771,110	△ 271,110	43巻4号,44巻2号製作費
未支出刊行費		156,347		44巻3号
地方会補助費	2,200,000	2,200,000	0	埼玉医科大学国際医療センターへ振込
会議費	50,000	0	50,000	オンライン開催
交通費	75,000	12,000	63,000	
常任幹事会		0		オンライン開催
事務局		12,000		八王子へ事務局3名@4,000円
会計監査		0		オンライン開催
SOS-KANTO	300,000	0	300,000	
看護部会シンポジウ	200,000	40,000	160,000	
会議費		40,000		講師謝礼。(シンポジスト10,000円×4名)
文通費		0		オンライン開催
印刷費	30,000	27,500	2,500	2/18幹事会資料300部印刷代
ホームページ運営費	0	0	0	
<b>事務費</b>	<b>2,160,000</b>	2,002,719	157,281	
通信費	30,000	67,596	△ 37,596	
切手代		29,568		
宅配便代		38,028		名譽会員2名へ郵装/ 前事務局より過去資料の宅配便
未支出 業務委託費	1,590,000	1,584,000	6,000	委託先：株式会社Smart119 12万×12ヶ月×1.1=1,584,000円(税込)
消耗品費	100,000	14,730	85,270	郵装、宛名ラベル代、受付用筆記用具代
振込手数料	10,000	3,025	6,975	
残高証明書		990		
未支出振込手数料		605		
電子決済利用料	400,000	331,773	68,227	ロボットペイメント利用料
<b>予備費</b>	<b>50,000</b>	15,835	34,165	誤入金の返金対応分(6,000円/9,835円)
支出合計	6,565,000	6,225,511		
収支	△ 434,990	152,976		
前年度(2022年)繰越金	13,562,826	13,562,826		※前年度決算に口座残高のみ記載したため、修正
次年度(2024)繰越金		13,715,802		
銀行口座残高	¥5,931,276	(りそな) 1/16入力		
郵便口座残高	¥5,166,347	(ゆうちょ) 1/16入力		
小口現金残高				
未収入金・未支出	¥2,618,179			
合計	¥13,715,802	※12/31時点の残高証明書		

各年度末・年会費納入率(参考)	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
幹事	77.78%	82.7%	78.0%	82.0%
一般	53.50%	64.8%	75.0%	72.0%
全体	60.08%	70.6%	76.0%	75.0%

	納入済%	未納%	計
2023年度 幹事	77.78%	22.2%	100.0%
一般	53.50%	46.5%	100.0%
全体	60.08%	39.9%	100.0%

	カード決済	振込	計
2023年度納入方法別 名	686	194	880
%	78.0%	22.0%	100.0%

## 電子決済利用明細

	【預り金】カード決済額			月集計
	幹事 ¥10,000	一般 ¥5,000	看護部会 ¥2,000	
1月	¥20,000	¥85,000	¥0	¥105,000
2月	¥1,300,000	¥810,000	¥0	¥2,110,000
3月	¥240,000	¥205,000	¥0	¥445,000
4月	¥410,000	¥460,000	¥0	¥870,000
5月	¥70,000	¥80,000	¥0	¥150,000
6月	¥0	¥30,000	¥0	¥30,000
7月	¥40,000	¥35,000	¥0	¥75,000
8月	¥130,000	¥75,000	¥0	¥205,000
9月	¥60,000	¥90,000	¥0	¥150,000
10月	¥10,000	¥125,000	¥32,000	¥167,000
11月	¥160,000	¥125,000	¥88,000	¥373,000
12月	¥40,000	¥70,000	¥8,000	¥118,000

¥2,480,000 ¥2,190,000 合計 ¥4,798,000

248名 438名 ¥128,000

S119→学会事務局へ振込  
64名

日本救急医学会関東地方会  
2024年度幹事会  
報告資料②

	【控除①】カード会社		【控除②】決済システム会社				【控除③】銀行	月集計
	手数料	消費税	システム利 用料	売上処理料	取消処理料	消費税	振込手数料	
<b>1月</b>	¥3,270	¥327	¥12,000	¥95	¥0	¥1,209	¥605	<b>¥17,506</b>
<b>2月</b>	¥64,415	¥6,441	¥12,000	¥1,460	¥0	¥1,346	¥605	<b>¥86,267</b>
<b>3月</b>	¥13,655	¥1,365	¥12,000	¥325	¥0	¥1,232	¥605	<b>¥29,182</b>
<b>4月</b>	¥26,830	¥2,683	¥12,000	¥665	¥0	¥1,266	¥605	<b>¥44,049</b>
<b>5月</b>	¥4,700	¥470	¥12,000	¥115	¥0	¥1,211	¥605	<b>¥19,101</b>
<b>6月</b>	¥895	¥89	¥12,000	¥30	¥0	¥1,203	¥605	<b>¥14,822</b>
<b>7月</b>	¥2,350	¥235	¥12,000	¥55	¥0	¥1,205	¥605	<b>¥16,450</b>
<b>8月</b>	¥6,245	¥624	¥12,000	¥140	¥0	¥1,214	¥605	<b>¥20,828</b>
<b>9月</b>	¥4,675		¥12,000	¥120	¥0	¥1,679	¥605	<b>¥19,079</b>
<b>10月</b>	¥5,088		¥12,000	¥210	¥5	¥1,730	¥605	<b>¥19,638</b>
<b>11月</b>	¥11,507		¥12,000	¥425	¥0	¥2,393	¥605	<b>¥26,930</b>
<b>12月</b>	¥3,632		¥12,000	¥110	¥0	¥1,574	¥605	<b>¥17,921</b>

↑インボイス制度のため、  
9月分からカード会社と決済システム会社の手数料合計額から消費税を算出

合計 **¥331,773**

学会事務局→S119へ振込

# 監査報告書

日本救急医学会関東地方会の2023年度（2023年1月1日～2023年12月31日）における収支計算書、およびそれに付随する諸帳簿について必要な監査手続きを実施した結果、2023年度の経営状況を適正に表現しており、かつ会計手続きに不正のないことを認める。

以上

2024年1月23日

日本救急医学会関東地方会

監事 河野元嗣 

監事 武田宗和 

日本救急医学会関東地方会  
2024年度幹事会  
報告資料③

関東災害連絡会議 根本学

2024年1月1日発災の能登半島地震に関して連絡会議を4月以降に開催予定

## 『日本救急医学会関東地方会雑誌』制作報告

編集委員会担当 根本学

### 1) 論文投稿数

全投稿数：38 編（うち 12 編は 2023 年本学会発表論文以外）  
〔医師部会：34 編，看護部会：1 編，救急隊員学術研究会：3 編〕

	件数	備考
2023 年 学会全発表数	175 件 (医師部会・看護部会：137 件， 救急隊員学術研究会：38 件)	投稿率： 14.9%
辞退・未着	149 編	
2023 年 発表論文投稿数	26 編 (医師部会：24 編，看護部会：0 編， 救急隊員学術研究会：2 編)	

【参考：投稿率の推移について】

	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
学会 発表数	224	270	261	233	-	237	175
辞退・未着	166	224	212	176	-	191	149
投稿数	58	46	49	48	-	46	26
投稿率	25.8%	17.0%	18.8%	20.6%	-	19.4%	14.9%

### 2) 掲載論文数

	44 卷 3 号 (6 月)	44 卷 4 号 (12 月)	45 卷 2 号 (3 月予定)	査読継続
掲載 論文数	4	26	3*	9**
内訳	医師部会：4 看護部会：0 救急隊員：0	医師部会：23 看護部会：1 救急隊員：2	医師部会：3 看護部会：0 救急隊員：0	医師部会：8 看護部会：0 救急隊員：1

\*2023 年 1 月 22 日時点での採用数

\*\*2023-2024 年に投稿され，査読継続中の論文数

### **3) 編集スケジュール**

- 2月17日 日本救急医学会関東地方会学術集会  
～3月 論文投稿依頼（学会発表者に投稿依頼）
- 3月末 45巻2号刊行予定
- 6月末 45巻3号刊行予定
- 12月末 45巻4号刊行予定

以上

救急隊部会・関東MC協議会連絡会

救急隊部会・関東MC協議会連絡会担当 畝本恭子

本文

2023年7月4日

常任幹事会において、救急隊部会の進捗状況を報告。関東MC協議会連絡会の構成について検討し、救急隊学術研究会のセッションのひとつ「指導救命士の現状と展望」を主題として行うことを決定した。

その後、関東支部事務局（山本正人様）と埼玉西部消防局と、発表形式、演者等、依頼状などにつき、詰めていただいた。

2023年12月19日

発表形式、連絡会次第等につき決定（別紙）。演者、司会の方々への依頼状の作成（山本様）

2024年1月23日

依頼状送付

（プログラム確定、各消防機関へ通知）

今回、2017年～2020年に開催され、コロナ以降、中断されていた関東地方メディカルコントロール協議会連絡会ですが、根本会長のご助言、消防の関東支部事務局・埼玉西部消防局の方々にご尽力いただき、今回、再開できることになりました。

以上

<p>パネル ディスカッション</p> <p>15時50分 ～ 17時50分</p>	<p>関東地方MC協議会連絡会</p> <p>第一部 テーマ「指導救命士の現状と展望」</p> <p>助言者 総務省消防庁消防・救急課救急企画室 救急専門官 飯田 龍洋 様</p> <p>助言者 一般財団法人救急振興財団 救急救命東京研修所 田邊 晴山 先生</p> <p>司 会 さいたま市消防局 醍醐 雅祥</p> <p>① 蓮田市消防本部 茅野 俊幸 【ステージ3の指導救命士に求められている「離」のあり方】</p> <p>② 横浜市消防局 松崎 潤 【横浜市における指導救命士の現状と展望】</p> <p>③ 東京消防庁 後藤 健太郎 【東京消防庁における指導救命士の現状と展望】</p> <p>④ さいたま市消防局 長沼 史朗 【さいたま市における指導救命士を活用した新たな救急教育体制の構築】</p> <p>第二部 テーマ「指導救命士制度のこれまでとこれからー指導救命士への期待ー」</p> <p>講 師 一般財団法人救急振興財団 救急救命東京研修所 田邊 晴山 先生</p> <p>司 会 南町田病院 救急科 畝本 恭子先生</p> <p>情報提供 総務省消防庁消防・救急課救急企画室 救急専門官 飯田 龍洋 様</p>
<p>閉会・挨拶</p>	<p>第74回日本救急医学会関東地方会会長 根本 学 先生</p>

## SOS-KANTO 委員会報告

SOS-KANTO 担当 中田孝明

1. 10 時点の SOS-KANTO 2017 Study data を用い、採用された論文は下記です。  
現在、SOS-KANTO 2017 study の振り返りと SOS-KANTO を継続するかどうか、会員に対してアンケートを行っています。常任幹事会の 1 週間前が締め切りなので、おおよその結果がわかれば追加報告します。

Yamamoto R, Tamura T, Haiden A, et al. frailty and Neurologic Outcomes of Patients Resuscitated From Nontraumatic Out-of-hospital Cardiac Arrest: A Prospective Observational Study. *Ann Emerg Med* 2023; 82: 84-93

Ishihara T, Sasaki R, Enomoto Y, et al. Changes in pre- and in-hospital management and outcomes among children with out-of-hospital cardiac arrest between 2012 and 2017 in Kanto, Japan. *Sci Rep* 2023; 13: 10092. <https://doi.org/10.1038/s41598-023-37201-1>

Kikutani K, Nishikimi M, Matsui K, et al. Prediction of the neurological outcomes post-cardiac arrest: A prospective validation of the CAST and rCAST. *Am J Emerg Med* 2024; 75: 46-52

Kishihara Y, Kashiura M, Yasyda H, et al. Association between institutional volume of out-of-hospital cardiac arrest cases and short term outcomes. *Am J Emerg Med* 2024; 75: 65-71

Aoki M, Aso S, Suzuki M, et al. Association between obesity and neurological outcomes among out-of-hospital cardiac arrest patients: The SOS-KANTO 2017 study. *Resusc Plus* 2023;17: 100513. doi: 10.1016/j.resplu.2023.100513.

Kitamura N, Tagami T, Takeda M, et al, on behalf of the SOS-KANTO 2017 Study Group. Changes of practice on out of hospital cardiopulmonary arrest during the COVID-19 pandemic: a cross-sectional survey of SOS-KANTO 2017 study. *Ann Clin Epidemiol* 2024; 6: 12-6.

Tanaka C, Tagami T, Kaneko J, Kitamura N, Yasunaga H, Aso S, Takeda M, Kuno M. Impact of the COVID-19 pandemic on prehospital and in-hospital treatment and outcomes of patients after out-of-hospital cardiac arrest: a Japanese multicenter cohort study. *BMC Emerg Med.* 2024; 24:12. doi: 10.1186/s12873-024-00929-8.

以上

日本救急医学会関東地方会  
SOS-KANTO 運営小委員会 令和 5 年度 第二回会議

日時：2024 年 2 月 8 日（月）11：00～13：00

場所：WEB（Zoom）

出席者：野村智久、船越 拓、本間洋輔、櫻井 淳、田上 隆、立石順久、康永秀生、  
北村伸哉

議事

1. 今後のスケジュールについて （資料 1 ロードマップ）  
先行研究の状況をみて、2017 study は終了となるが、先行研究の論文化と公開後の研究応募に関しては解析担当（田上）と現委員長（北村）でチェックする。二次募集の進捗状況の確認、投稿時のバックアップは現班長がチェックする。新しい study を始めるか否かは後述する
2. 先行研究（1次募集）の整理 （資料 2）  
現在のところ、7つの論文が採用され、さらにいくつかが投稿されている反面、26の PICO が研究を断念している。すでに研究期限は切れているが、期限を3月末まで延長し、その時点で未投稿の研究は研究終了。テーマは開放ということになった。断念された PICO の数に対して東京大学の康永教授からもうすこし、大学からも積極的にアプローチして差し上げればよかったとの言葉を頂いた。しかし、PICO の採用に際して、連絡がつかない応募者が多く、また、MCDRS の稼働に時間を要したため、研究者の異動と重なってしまったことが一番の断念理由と考えられた。総じて委員長の不手際である。  
残念なことに authorship 違反をして投稿、アクセプトされた研究があった。著者には注意をして反省を促したが、同様の過ちを SOS-KANTO 以外でも犯しているようである。SOS-KANTO study の data は学会参加者の財産であり、会員全体に対して改めて再発防止を促す必要がある。
3. 2次募集の進捗状況の確認 （資料 3）  
2月29日が研究締め切り日であり、ほとんどの研究が投稿済みであり、査読中である。担当の各班長が進捗状況を確認し、現状を把握する。
4. 次回 SOS-KANTO study を策定するか（アンケート調査配布済み）  
今後、SOS-KANTO study を継続するにあたり、アンケートを日本救急医学

会関東地方会会員全員にアンケートをメールにて送ったが、回答を得たのはわずかに 36 名であった。

改めてアンケート内容と回答をまとめると

1. いままで行ってきた SOS-KANTO study に対する要望・改善点

ほとんどが回答なし。素晴らしい研究である。若手研究者にとって有用と肯定的な回答が 4 名。入力の手間、負担との意見が 4 名、終了から data 配布までの時間が長い、他の data base との共同研究に使用したいとの意見があった。

2. 参加希望

55%の 20 名(20 施設)が参加したいとの回答であった。

3. 参加希望の場合の計画案について

IHCA の研究、DPC を活用した研究、など、観察研究が良いとの意見が多かったが、RCT の要望もあった。また、OHCA レジストリにアドオンできないかとの意見もあった。

4. 参加を希望しない場合の理由

煩雑である。マンパワー不足、余裕なしが 5 名。現時点での目的、詳細がわからないが 2 名、OHCA 参加中で二度手間になる 3 名、参加したいが、CPA(救急患者)がない、所属大学に医学部がないなど、参加ができないとの意見もあった。

委員からの意見では SOS-KANTO study から世界に発信できた論文も数多く、今回でおしまいになってしまうのは非常に惜しいという意見、アンケートに対する返信が少ないことから、実施しても参加施設がさらに減るのではないかと心配、事務局の機能が低かったため、応募者の移動先など、動きを掴むことに対して多大な労力を使ったことへのトラウマなど、が寄せられたが、概して、継続を望む声が多かった。

その上で

- ・若い研究者がサポートを受けながら、論文を書きたいという意欲があれば、是非、継続してほしい。大学病院でなくても研究ができる。
- ・新しい事として、DPC を活用した研究はどうか。病院の data と CPA の data の結合は用意である。その data から様々な観察研究が生まれるのではないか。
- ・OHCA にアドオンすることにより、OHCA に参加している施設も入力しやすくなるのではないか。
- ・SOS-KANTO は PICO 採用後も東大からのサポートが受けられるのが大きな強みである。
- ・事務局のサポート人数を増やしていただき、委員の負担が軽減する必要があるが、その費用に関してはまず、関東地方会が負担していただくのが、望ましい

- ・予算がとれないのならば、救急医学会の多施設共同研究に応募する方法も考えられる。
- ・その場合、子学会が親学会の主催する多施設共同研究プロジェクトに応募しても良いかどうか確認する必要がある。規定はないが、レベルは高い。
- ・もしくは他の団体の助成金に応募するか。

## 日本救急医学会学生研修医部会関東支部報告

日本救急医学会学生研修医部会関東支部担当 中田孝明

日本救急医学会学生研修医部会関東支部（以下 SMAQ 関東ブロック）では救急医療の裾野を広げていくことを目的として活動を行っている。

新型コロナウイルスの流行下ではオンラインを中心とした活動が多かったが、最近では全国医学生 BLS 選手権大会をはじめとした実地での企画も行ってきている。

以下 SMAQ 関東ブロックにおける近年の活動について列記する。

2023 年 2 月 19 日

第 8 回 SMAQ 関東ブロックオンライン企画『ER ってどんなところ？』

2023 年 10 月 9 日

第 9 回全国医学生 BLS 選手権大会 関東予選大会  
（東京医科歯科大学内にて実施）

2023 年 11 月 28 日

第 9 回全国医学生 BLS 選手権大会 決勝大会  
（国立国際医療研究センター病院にて実施）

2024 年 2 月 17 日（予定）

第 74 回日本救急医学会関東地方会学術集会  
『蘇生に関するシミュレーション教育企画』（仮題）

以上

## 日本救急医学会関東地方会ホームページ報告

ホームページ担当 中川儀英

### 1. ホームページ更新情報について（関連学会案内の更新を除く）

【2023 年 1 月】

なし

【2023 年 2 月】

第 74 回学術集会のお知らせを掲載しました。（2023. 2. 20）

第 75 回学術集会のお知らせを掲載しました。（2023. 2. 20）

発表演題 論文ご投稿のお願いを掲載しました。（2023. 2. 20）

入会案内・入会届を更新しました。（2023. 2. 20）

日本救急医学会関東地方会会則を更新しました。（2023. 2. 20）

幹事名簿を更新しました。（330 名、2023 年 2 月 18 日承認、2 月 20 日更新）

役員一覧を更新しました。（2023. 2. 20）

各種申請手続きを更新しました。（2023. 2. 20）

学術集会を更新しました。（2023. 2. 20）

【2023 年 3 月】

投稿規定のタイトルページを更新しました。（2023. 3. 2）

【2023 年 4 月】

SOS-KANTO 2017 Study のデータセットが公開されました（2023. 4. 1）

【2023 年 5 月】

なし

【2023 年 6 月】

学術集会を更新しました。（2023. 6. 14）

【2023 年 7 月】

幹事名簿を更新しました。（327 名、2023 年 2 月 18 日承認、7 月 4 日更新）

役員一覧を更新しました。（2023. 7. 4）

学術集会を更新しました。（第 75 回更新、2023. 7. 6）

第 75 回学術集会のお知らせを更新しました。（2023. 7. 6）

編集委員を更新しました。（2023. 7. 12）

【2023 年 8 月】

関連学会案内を更新しました。（2023. 8. 16）

【2023 年 9 月】

なし

【2023 年 10 月】

看護部運営委員会主催シンポジウムのお知らせを掲載しました。（2022. 10. 10）

会員マイページのメンテナンス作業のお知らせを掲載しました。（2023. 10. 12）

【2023 年 11 月】

なし

【2023 年 12 月】

なし

### 2. ホームページリニューアルについて（→審議事項④）

以上

第74回（令和6年）日本救急医学会関東地方会

第74回総会会長 根本 学

開催日時：2024年2月17日（土） 9時10分：開会式 18時5分：閉会式  
会場：埼玉会館 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目1-4  
テーマ：守・破・離

1. プログラム

医師部会

- 専門医共通講習：免疫不全者を対象とした新型コロナウイルス感染症対策  
国立がん研究センター中央病院 感染症部／感染制御室 小林 治 先生  
救急科領域講習：救急医が知っておくべき法医学の基礎知識  
埼玉医科大学法医学教室 高田 綾 先生

パネルディスカッション

- 1 Acute Care Surgeryと救急医 5演題
- 2 高齢社会と向き合う① 6演題  
高齢社会と向き合う② 5演題

看護部門

教育講演

看護とは何か

東海大学看護師キャリア支援センター 剣持 功 先生

パネルディスカッション

- 3 救急看護の現状と展望 6演題

救急隊員部会

教育講演

医療安全とは何か？-Team STEPPSの取り組み

東京慈恵会医科大学救急医学講座 武田 聡 先生

パネルディスカッション

- 4 止血帯止血法の是非 5演題

基調講演

ターニケットの是非：2000年の歴史を考量する

深谷赤十字病院 救命救急センター 金子 直之 先生

- 5 指導救命士の現状と展望 4演題

特別講演

指導救命士制度のこれまでとこれから—指導救命士への期待

一般財団法人救急振興財団救急救命東京研修所 田邊 晴山 先生

一般演題

医師部会：94演題

研修医セッション：26演題

医師部会計：120演題

看護部会：13演題

救急隊員部会：37演題

パネルディスカッション：31演題

一般演題合計：170演題

演題数計：201演題

ランチョンセミナー

1 共催：アストラゼネカ株式会社

2 共催：アルフレッサファーマ株式会社

以上

第 75 回（令和 7（2025）年）日本救急医学会関東地方会・  
第 62 回救急隊員学術研究会（予定）

第 75 回総会会長 木下浩作

会期：2025 年 2 月 22 日（土）※前日の 2 月 21 日（金）は各種会議と準備日

会場：東京国際フォーラム

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号

JR 線

有楽町駅より徒歩 1 分

東京駅より徒歩 5 分（京葉線東京駅と B1F 地下コンコースにて連絡）

学術集会事務局：日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野

テーマ：そこに救う命がある限り ～転帰改善に向けて～

概要

各疾患・病態毎の転帰改善に向けた研究を報告頂く。

※会期決定次第、関東地方会ホームページへ掲載予定

以上

日本救急医学会関東地方会

2024年度幹事会

報告資料⑪

第76回（令和8（2026）年）日本救急医学会関東地方会・  
第63回救急隊員学術研究会（予定）

会期：2026年（令和8年）2月7日（予定）

会長：東海大学医学部附属病院 救命救急センター  
主任教授 中川儀英先生

会場：小田原三の丸ホール、報徳会館（予定）

学術集会事務局：未定

テーマ：未定

※会期決定次第、関東地方会ホームページへ掲載予定

以上

## 看護部会

看護部会担当 浅香えみ子

### 活動報告

#### 1. 看護部施設代表者会セミナー

目 的 施設からの学術集会参加者増加を目的に、地方会活動への関心を高める。

開催日時 2023 年 11 月 11 日（土）10：00～11：30

テーマ 学会発表のお悩みを解決しよう  
・施設スタッフへの学会発表支援の実際  
・倫理審査のワンポイントレッスン

開催方法 オンライン

参加費 無料

参加者数 10 名

課 題 施設代表者への事前調査を基に企画したセミナーであるが、参加者が増加しない。施設代表者の在り方について検討が必要である。セミナーテーマはニーズに基づくものであり、継続していく。

#### 2. 看護部運営委員会主催シンポジウム

目 的 関東地方会活動への関心を高めること、及び関東地区の救急看護師の連携を強化する機会とする。

開催日時 2023 年 12 月 2 日（土）14：00～16：00

テーマ 【患者の安全を守ろう！予期せぬ急変死亡を防ぐ RRS  
～医療チームの初期対応を成果につなげよう～】

・RRS と救急看護師の役割

・RRS の活動と課題

課題を中心とした発表

これまでの振り返りと課題についての発表

RAS を含む活動についての発表

開催方法 オンライン

参加費 2,000 円

参加者数 57 施設 73 名受講（関東外 36%）

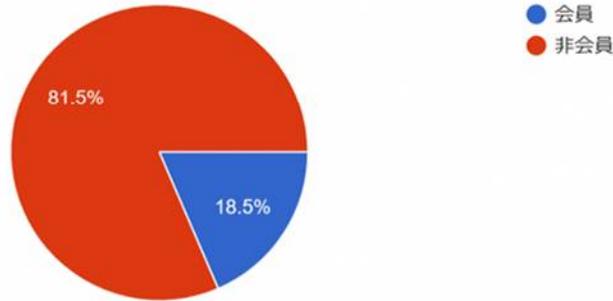
収入  $2,000 \times 73 = 146,000$ （参加費）

支出  $10,000 \times 4 = 40,000$ （謝金）

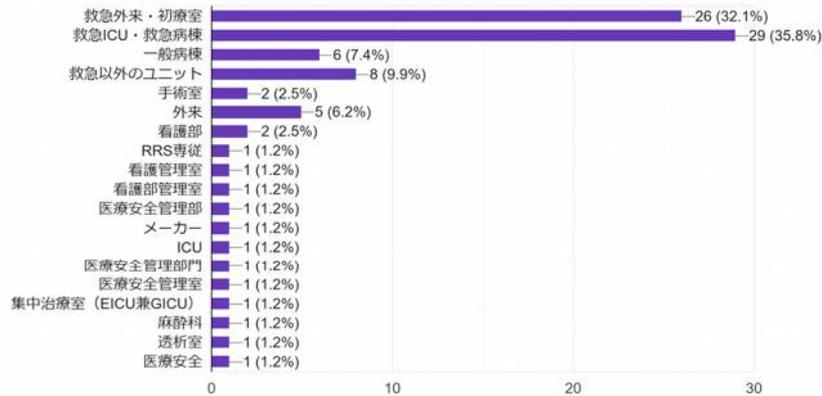
決算 106,000 円

シンポジウム参加者背景

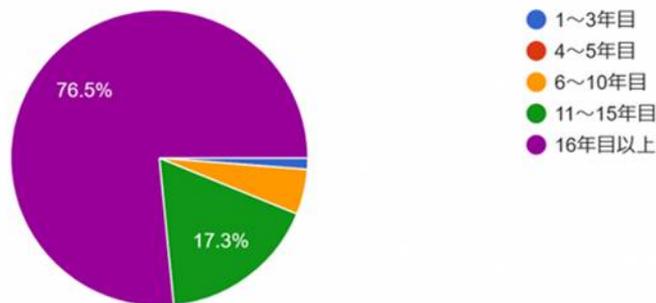
関東地方会会員の有無  
81 件の回答



配属部署  
81 件の回答



看護師経験年数  
81 件の回答



日本救急医学会関東地方会  
2024年度幹事会  
審議資料①

日本救急医学会関東地方会 2024年度予算（案）

庶務担当 中村光伸

【収入の部】				
科目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	
会費収入	5,680,000	5,940,000	5,680,000	幹事80%、一般80%：計80%
雑収入	450,010	438,487	450,010	
銀行預金利息	10	27	10	昨年度予算
補助金	200,000	200,000	200,000	救急医学会より地方会補助金
その他(1)	50,000	88,500	50,000	別刷代 ※不確定
その他(2)	200,000	146,000	200,000	看護部会シンポ ※不確定
その他(3)	0	0	0	学術集会余剰金 ※不確定
その他(4)	0	3,960	0	医中誌利用料 ※不確定
収入合計	6,130,010	6,378,487	6,130,010	
【支出の部】				
科目	2023年度予算	2023年度決算	2024年度予算	
<b>事業費</b>				
刊行費	1,500,000	1,927,457	2,000,000	
地方会補助費	2,200,000	2,200,000	2,200,000	親会20万、地方会事務局200万
会議費	50,000	0	50,000	昨年度予算
交通費	75,000	12,000	75,000	昨年度予算
印刷費	30,000	27,500	30,000	幹事会資料の印刷代300部
SOS-KANTO	300,000	0	300,000	昨年度予算
看護部会シンポ	200,000	40,000	200,000	昨年度予算
<b>事務費</b>				
通信費	30,000	70,761	40,000	※切手代・宅配代
業務委託費	1,590,000	1,584,000	1,590,000	※固定
消耗品費	100,000	11,565	100,000	昨年度予算
振込手数料/残高証明書	10,000	4,620	10,000	昨年度予算
電子決済利用料	400,000	331,773	400,000	800名×平均手数料500円と想定 ※不確定
ホームページ制作費	0	0	736,560	勝負印刷様のお見積¥736,560
予備費	50,000	15,835	50,000	昨年度予算
支出合計	6,535,000	6,225,511	7,781,560	
収支	△ 404,990	152,976	△ 1,651,550	
前年度繰越金	13,562,826	13,562,826		
次年度繰越金		13,715,802	13,715,802	
キャッシュ	2023年度繰越金	2024年度繰越金		
りそな銀行	¥1,050,451	¥5,931,276		
ゆうちょ銀行	¥10,222,830	¥5,166,347		
未収入金・未支出	¥2,289,545	¥2,618,179		
	¥13,562,826	¥13,715,802		

## 新幹事候補者リスト

常任幹事長 井上貴昭

	新幹事候補者名	所属	出身大学/最終学歴	卒業年	資格（会費3年完納）
1	なかじま みきお 中島 幹男	東京都立広尾病院 救命救急センター	東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 専門職学位過程	2019年 3月	○
推薦者 (2名)	山口 芳裕 (幹事)	海田 賢彦 (幹事)			
2	おがわ ふみひろ 小川 史洋	横浜市立大学附属病院 救急科	北里大学医療系研究科医学博士課程	2014年 3月	○
推薦者 (2名)	竹内 一郎 (幹事)	大井 康史 (幹事)			
3	まつもと てつや 松本 徹也	医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター	福岡医療・スポーツ専門学校 救急救命公務員科	2017年 3月	○
推薦者 (2名)	武田 宗和 (幹事)	須賀 弘泰 (幹事)			
4	のがき あやこ 野垣 文子	横浜市立市民病院 救急診療科	昭和大学医学部	2005年 3月	○
推薦者 (2名)	竹内 一郎 (幹事)	伊巻 尚平 (幹事)			
5	たぐち しげまさ 田口 茂正	さいたま赤十字病院 高度救命救急センター	東京大学医学部医学科	2003年 3月	○
推薦者 (2名)	根本 学 (幹事)	清田 和也 (幹事)			

立候補〆切：2023年12月29日(金) (必着)

2023/2022/2021年3年分完納

以上

## 名誉会員の推戴について

常任幹事長 井上貴昭

令和6年（第74回日本救急医学会関東地方会）幹事会 名誉会員推戴候補者  
（敬称略 五十音順）

対象者なし

※2023年12月31日時点で65歳以上かつ役員経験者を調査。2024年に66歳/1958年 昭和33年生まれ。

・次回対象：令和7年（第76回）2名予定※2025年に66歳/1959年 昭和34年生まれ。

### 日本救急医学会関東地方会会則（抜粋）

#### 第3章 会員 （構成）

第5条 本会は、次の会員によって構成する。

- (2) 名誉会員：本会の発展に特に功労のあった者で、別に定める細則により推薦され、承認された者

<<中略>>

（任期）

第14条 役員の任期は、次のとおりとする。

- (1) 常任幹事および監事の任期は、3年とし再任を妨げないが、連続して2期を超えてはならない。
- (2) 常任幹事および監事の任期は、選任された幹事会の翌日から3年後の幹事会の日までとする。
- (3) 会長の任期は、前回の学術集会終了の翌日から当該学術集会終了の日までとする。
- (4) 補充によって選任された役員の任期は、前任者または現任者の残任期間とする。
- (5) 役員が幹事でなくなった場合は、役員の資格を失う。

<<中略>>

#### 第5章 幹事

（幹事の選任、職務、任期、定年）

第15条 幹事は、別に定める細則により、正会員の中から選任する。

2 幹事は、幹事会を組織し、学会運営に関する事項を審議する。

3 幹事の任期は定めない。

4 幹事の定年は、満65歳とし、任期は定年に達した年の12月31日までとする。

### 日本救急医学会関東地方会会則施行細則（抜粋）

#### 第5章 名誉会員

第21条 名誉会員は、常任幹事が推薦し、幹事会の承認を要する。

第22条 名誉会員は、幹事会に出席し、意見を述べることができるが、議決に加わることは出来ない。

2 名誉会員の推戴要件は、以下の通りとする。

- (1) 役員経験者であること
- (2) 65歳以上であること
- (3) 本人に名誉会員となる意思があること

## 名誉会員推戴者一覧

饗場 庄一	荒木 駿二	上田 守三	上松瀬勝男
小林 國男	佐々木仁也	島崎 修次	杉山 貢
鈴木 忠	高橋 愛樹	中江 純夫	中野 達也
平澤 博之	前川 和彦	松田 博青	茂木 正壽
矢崎 誠治	山本 保博	渡辺 晃	相川 直樹
小池 莊介	林 成之	辺見 弘	山中 郁男
芦川 和高	大和田 隆	野口 照義	山本 修三
石田 清	市来寄 潔	梅園 明	葛西 猛
黒川 顯	都築 正和	中田 義隆	原口 義座
針谷 英世	大橋 教良	相馬 一亥	長尾 建
益子 邦洋	有賀 徹	堀 進悟	兼坂 茂
行岡 哲男	堤 晴彦	石川 雅健	猪口 貞樹
渋谷 正徳	横田 裕行	田中 裕	中野 実
小野 一之	坂本 哲也	藤島 清太郎	

(全 55 名、名誉会員番号順、物故者を含む)

ホームページリニューアルについて

ホームページ担当 中川儀英

昨年より進めていたホームページリニューアルに向けてテストアップまで完了しましたので、公開に向けた確認などをお願い出来ますでしょうか。

■進捗状況

下記内容にてテストアップまで行いました。

制作会社： 勝美印刷株式会社

最終制作見積もり： ￥643,500（税込）

テスト確認用 URL： <http://jaam-kanto.shobix.biz/officer.html>

テストサイト閲覧 ID： jaamkanto

テストサイト閲覧パスワード： 3Ereph13

■課題に対する対応状況

デザインを一新して、スマートフォン対応で作成しました。

■公開

2月14日公開予定

以上

●パソコン版

**日本救急医学会関東地方会**  
Japanese Association for Acute Medicine of KANTO

HOME 入会希望のみなさまへ 会員マイページ お問い合わせ



[当会について](#)  
[会則](#)  
[役員について](#)  
[学術集会について](#)  
[委員会について](#)  
[各種申込み](#)  
[よくあるお問い合わせ](#)  
[リンク](#)

[第74回学術集会](#)
[第75回学術集会](#)
[地方会雑誌](#)
[投稿規定](#)

**最近のお知らせ**

2023.10.10	みなさまへ	看護部会運営委員会主催シンポジウムのお知らせ
2023.07.19	みなさまへ	新幹事公募のお知らせ
2023.07.06	学会のお知らせ	第75回学術集会のお知らせ
2023.06.14	学会のお知らせ	第74回学術集会のお知らせ
2023.02.20	学会のお知らせ	発表要綱・論文投稿のお願い
2023.02.20	みなさまへ	会則の更新のお知らせ
2023.02.20	みなさまへ	入会案内・入会届の更新のお知らせ

[過去のお知らせ](#)

お問い合わせ リンク サイトマップ

〒250-0013 東京都大田区中田4-2-1 1F  
1F 東京中央ビル1119号 7階 株式会社Smarit 119F  
日本救急医学学会関東地方会事務局 | jst\_kanto@smarit119.jp

©2023 J-STAGE. All rights reserved.

●スマートフォン版

日本救急医学会関東地方会  
Japanese Association for Acute Medicine of KANTO

HOME 入会希望のみなさまへ 会員マイページ お問い合わせ



[第74回学術集会](#)
[第75回学術集会](#)
[地方会雑誌](#)
[投稿規定](#)

**最近のお知らせ**

2023.10.10	みなさまへ	看護部会運営委員会主催シンポジウムのお知らせ
2023.07.19	みなさまへ	新幹事公募のお知らせ
2023.07.06	学会のお知らせ	第75回学術集会のお知らせ
2023.06.14	学会のお知らせ	第74回学術集会のお知らせ
2023.02.20	学会のお知らせ	発表要綱・論文投稿のお願い
2023.02.20	みなさまへ	会則の更新のお知らせ
2023.02.20	みなさまへ	入会案内・入会届の更新のお知らせ

[過去のお知らせ](#)

## 議事録に関する会則変更案

常任幹事長 井上貴昭

中川先生よりご提案内容

### (修正案)

通常は議事録は会員のなかでいずれかのタイミングで公表共有されるべきです。今年度の幹事会ではその機会はありませんでしたが、幹事会では1年経過してしまいます。

- 1) 適切なタイミングで会員が閲覧できるような仕組みを作るべき (HP 掲載)
- 2) 常任幹事といった役員人事は重要なので、今後は、会議資料に掲載している氏名はしっかり記載したほうが良い
- 3) 事務局負担軽減等の理由から署名法変更であれば議事録に残っている署名押印の文言も不要 (会則変更)
- 4) 幹事会 (2月) の議事録は、そのあと直近で行われる常任幹事会 (7~8月開催) で確認するべき
- 5) 常任幹事会 (7~8月・1~2月開催) の議事録も作成し、こちらは常任幹事会のメーリングリストで早々に確認共有をするのが良い
- 6) 幹事会及び常任幹事会の議事録は事務局で作成し、直後の常任幹事会で確認をしたうえで、修正を行い、最終版は事務局で保管することが一般的

以上

URL

[会則：日本救急医学会 関東地方会 \(umin.ac.jp\)](http://umin.ac.jp)

<変更前>

## 第6章 会議

### (常任幹事会)

第16条 常任幹事会は、常任幹事及び監事で構成する。

- 2 常任幹事長は、常任幹事会を招集し、議長の職務を行う。
- 3 常任幹事長は、常任幹事の2分の1以上または幹事の請求があるときは、常任幹事会を招集しなければならない。
- 4 常任幹事会は、常任幹事現在数の3分の2以上の出席がなければ議事を開き、議決することができない。
- 5 常任幹事会における議事は、出席常任幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 6 監事は、常任幹事会において意見を述べるができる。ただし、議決に加わることはできない。
- 7 通常常任幹事会は毎事業年度に2回（但し、4か月を超える間隔で開催）、及び臨時常任幹事会は必要に応じて常任幹事長が招集する。

### (幹事会)

第17条 幹事会は、幹事および名誉会員で構成する。

- 2 常任幹事長は、学術集會会期終了、あるいは、3月31日までに幹事会を招集し議長の職務を行う。
- 3 常任幹事長は、幹事の2分の1以上または幹事の請求があるときは、幹事会を招集しなければならない。
- 4 幹事会における議事は、出席幹事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

### (議事録)

第18条 常任幹事会と幹事会の議事録は、議長が作成し、議長及び出席者代表2名が署名してこれを事務局に保管する。

↓

<変更案>

(議事録)

第 18 条 常任幹事会と幹事会の議事録は、事務局が作成し、直後の常任幹事会で確認し、最終版は事務局で保管する。

以上

## 事務局長に関する会則変更案

常任幹事長 井上貴昭

関東地方会に事務局長を置く。

背景) 事務局長は事務局口座の代表者として銀行へ届け出るため。

りそな銀行より

・ 旧口座の解約は代表者本人が支店へのご来店が必要 ( 開設時のご高齢の医師本人様でなければならぬ )

・ もし常任幹事長名で新規口座開設→解約の手続きをする際も、解約の際はご本人の支店へのご来店が必要 ( 事務局が代理不可 )

・ りそな銀行・ ゆうちょ銀行の 2 口座とも継続保有、解約は保留

→事務局長名で口座を新規開設し、りそな銀行・ ゆうちょ銀行より全額を移行

### 他の学会での事務局長の例

例 1 )

[学会会則 | 学会案内 | 日本認知心理学会 \(cogpsy.jp\)](#)

第 19 条 事務局

1 事務局長が事務局運営にあたる。理事長は**事務局長を任命**する。事務局の事務遂行のため有給の事務局員をおくことができる。

2 事務局業務の一部を下記に業務委託する。

例 2 )

[西日本社会学会 > 学会概要 > 会則 \(kyushu-u.ac.jp\)](#)

第 10 条:本会は、次の役員をおく。

会長 1 名

理事 8 名 ( うち常任理事 2 名 )

会計監査 2 名

**事務局長 1 名**

第 11 条:役員の仕事は、次のとおりとする。

会長は、本会を代表し、会務を統理する。

理事は、本会の運営について分掌する。

常任理事は、会務の執行にあたり会長を補佐する。

会計監査は、会計を監督する。

**事務局長**は、会長の指示に従い本会の事務を司る。

第 12 条:役員を選出は次のように行う。

会長・理事・会計監査は総会において選出するものとする。選出に関する規定は別に定める。

**事務局長**は会長が委嘱する。

第 13 条:役員の任期を次のように定める。

会長・理事・会計監査の任期は、いずれも 2 年とする。ただし会長指名の理事は任期 1 年とする。これらはそれぞれ、4 年を越えて在任し続けることはできない。

事務局長の任期は、いずれも原則として 1 年とする。ただし重任を妨げない。

例 3 )

[会則 | 日本術後痛学会 \(jsspp.jp\)](#)

本会には会長 1 名、理事若干名、評議員若干名、監事 2 名、**事務局長 1 名**を置く。

役員任期は会長 1 年、理事、評議員、監事および**事務局長**は 3 年とし、会長以外の役員は再任を妨げない。役員は就任時の年齢が 65 才未満であることを条件とする。

(5) **事務局長選出細則**に別項を定める。

例 4 )

[会則・利益相反 | 日本医療ガス学会 \(medical-gas.gr.jp\)](#)

本会は、役員として理事長 1 名、学術大会会長 1 名、監事 2 名、常任理事若干名、理事若干名、**事務局長 1 名**を置く。

**事務局長**は、常任理事会において正会員の中から選出され、理事会および総会の承認を受けて、理事長が委嘱する。

(6)**事務局長**は、理事長を補佐して事務を処理し会務を執行する。

常任理事会は、理事長、学術大会会長、学術大会前会長、学術大会次期会長、監事、常任理事、**事務局長**をもって構成される。

常任理事会は、理事長、学術大会会長、学術大会前会長、学術大会次期会長、監事、常任理事、**事務局長**をもって構成される。

↓

会則案) 青字を追加

URL

会則：[日本救急医学会 関東地方会 \(umin.ac.jp\)](http://umin.ac.jp)

#### 第 4 章 役員

( 役員 )

第 11 条 本会には次の役員をおく。

- ( 1 ) 常任幹事長：1 名
- ( 2 ) 常任幹事：8 名 ( 常任幹事長、会長及び次期会長を含む )
- ( 3 ) 監事：2 名
- ( 4 ) 会長：1 名
- ( 5 ) 次期会長：1 名
- ( 6 ) 事務局長：1 名

( 選任 )

第 12 条 役員は、別に定める細則により選任する。

- 2 監事は、他の役員を兼ねることができない。
- 3 会長は、幹事の中から常任幹事会が推薦し、幹事会の議を経て選任する。
- 4 事務局長は、業務委託先より会長が委嘱する。

( 職務 )

第 13 条 常任幹事長は、本会を代表し、本会の会務を総括する。

- 2 常任幹事長に事故があるとき、または常任幹事長が欠けたときは、最年長の常任幹事がその職務を代行する。
- 3 常任幹事は、常任幹事会を組織し、会務の審議および本会の運営に関する実務を分担する。
- 4 会長は、学術集会を主宰する。
- 5 会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、常任幹事会において代理を選任し、そのものが任にあたる。
- 6 監事は、本会の会計および会務執行を監査する。

7 事務局長は、会長の指示に従い本会の事務を司る。事務局の事務遂行のため事務局員をおくことができる。

( 任期 )

第 14 条 役員の任期は、次のとおりとする。

( 1 ) 常任幹事および監事の任期は、3 年とし再任を妨げないが、連続して 2 期を超えてはならない。

( 2 ) 常任幹事および監事の任期は、選任された幹事会の翌日から 3 年後の幹事会の日までとする。

( 3 ) 会長の任期は、前回の学術集会終了の翌日から当該学術集会終了の日までとする。

( 4 ) 補充によって選任された役員の任期は、前任者または現任者の残任期間とする。

( 5 ) 役員が幹事でなくなった場合は、役員の資格を失う。

( 6 ) 事務局長の任期は、業務委託契約に基づき、重任を妨げない。

## 第 6 章 会議

( 常任幹事会 )

第 16 条 常任幹事会は、常任幹事及び監事、事務局長で構成する。

以上